

## 授業科目

## 人体の構造と機能II

|                           |      |    |       |    |
|---------------------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名<br>羽柴 正夫、鈴木 力、渡辺 賢一 | 対象学年 | 1  | 対象学科  | 救急 |
|                           | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
|                           | 単位数  | 4  | 時間数   | 60 |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ◎     | ◎     | ○  |       |

## 授業の概要

救急救命士は、限られた時間かつ各種検査ができない状況下で、視・触・聴診等による観察から傷病者の状態を推測しなければならない。そのためには、人体の構造と機能について解剖学的、生理学的、生化学的事項を理解しておくことが基本となる。

本科目では、人体構造および生体維持機能の基礎的事項とともに、人体の構造と機能について学習する。

## 授業の目的

人体構造および生体維持機能の基礎的事項とともに、人体を構成する各臓器・器官の構造と機能を系統的に理解し、救急救命士に必要とされる解剖学的、生理学的、生化学的基礎知識を修得する。

## 学習目標

1. 人体構造および生体維持機能の基礎的事項を理解する。
2. 人体を構成する各臓器・器官の構造と機能を系統的に理解する。

## 授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題    | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員       |
|----|---------------|--------------|------------|
| 1  | 人体を構成する要素（1）  | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 2  | 人体を構成する要素（2）  | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 3  | 生命の維持（1）      | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 4  | 生命の維持（2）      | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 5  | 生命の維持（3）      | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 6  | 生命の維持（4）      | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 7  | 神経系の機能（1）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 8  | 神経系の機能（2）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 9  | 神経系の機能（3）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 10 | 呼吸系の機能（1）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 11 | 呼吸系の機能（2）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 12 | 呼吸系の機能（3）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 13 | 1～12回目のまとめ    | 講義           | 羽柴 正夫、鈴木 力 |
| 14 | 循環系の機能（1）     | 講義           | 渡辺 賢一      |
| 15 | 循環系の機能（2）     | 講義           | 渡辺 賢一      |
| 16 | 循環系の機能（3）     | 講義           | 渡辺 賢一      |
| 17 | 消化系の機能（1）     | 講義           | 鈴木 力       |
| 18 | 消化系の機能（2）     | 講義           | 鈴木 力       |
| 19 | 消化系の機能（3）     | 講義           | 鈴木 力       |
| 20 | 腎・泌尿系の機能      | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 21 | 生殖系の機能（1）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 22 | 生殖系の機能（2）     | 講義           | 羽柴 正夫      |
| 23 | 内分泌系の構造と機能（1） | 講義           | 渡辺 賢一      |
| 24 | 内分泌系の構造と機能（2） | 講義           | 渡辺 賢一      |

|    |                 |    |             |
|----|-----------------|----|-------------|
| 25 | 血液・免疫系の構造と機能（1） | 講義 | 渡辺 賢一       |
| 26 | 血液・免疫系の構造と機能（2） | 講義 | 渡辺 賢一       |
| 27 | 血液・免疫系の構造と機能（3） | 講義 | 渡辺 賢一       |
| 28 | 皮膚系の構造と機能（1）    | 講義 | 羽柴 正夫       |
| 29 | 皮膚系の構造と機能（2）    | 講義 | 羽柴 正夫       |
| 30 | 14～29回目のまとめ     | 講義 | 羽柴 正夫、渡辺 賢一 |

#### 使用図書

| 使用図書   | 書名                      | 著者名              | 発行所   | 発行年   | 価格       | その他 |
|--------|-------------------------|------------------|-------|-------|----------|-----|
| 教科書    | 改訂第9版 救急救命士標準テキスト<br>上巻 | 救急救命士標準テキスト編集委員会 | へるす出版 | 2015年 | 9,800円+税 |     |
| 参考書    |                         |                  |       |       |          |     |
| その他の資料 | 必要に応じて参考資料を適宜配布する。      |                  |       |       |          |     |

#### 評価方法

科目試験(1) (50%) 科目試験(2) (50%)

科目試験(1), 科目試験(2)とも不合格者に対しては, 1回再試験を行う。必要な場合, レポートを課し, その結果も評価対象とする。

科目試験(1)の受験資格は, 1～13回目の授業のうち9回以上出席を条件とする。

科目試験(2)の受験資格は, 14～30回目の授業のうち11回以上出席を条件とする。

本科目の単位認定には, 科目試験(1)および科目試験(2)のそれぞれで合格することが要件となる。

#### 履修上の留意点

本科目では, 基本的事項を効率よく理解するために, 指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は, 講義内容を理解し, 重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので, ノートはとらず, メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

#### オフィスアワー・連絡先

鈴木 力: 水曜日12時～13時。その他, 連絡していただければ, 適宜時間を調整します。

E-mail: tsutomu-suzuki@nuhw.ac.jp